

静岡市住生活基本計画

～豊かさを創り合う住生活の実現にむけて～

住むなら
静岡!



2023（令和5）年3月

静岡市

静岡市住生活基本計画

2023(令和5)年度～2032(令和14)年度

あなたは今、この静岡市でどんな「住まい方」をしていらっしゃるでしょうか？
「住まい方」とは、暮らし方のなかでも、「住生活」に焦点を当てた言葉です。
そして、「住生活」とは、「住まいで営まれる生活のこと」を言います。

この計画は市民の皆さん、事業者の皆さん、そして行政のみなんで豊かな静岡市を作っていくために、
「住生活」について基本的な方針を示すための計画です。

静岡市には、**住まい方を豊かにする良いところ**がたくさんあります。

夏は暑すぎず冬は寒すぎない、温暖な気候に恵まれています。

静岡市は年間を通して温暖な気候であり、
特に市内は冬でも暖かく、雪はほとんど降りません。
夏になると駿河湾からの海風が吹くため、
涼しく暮らすことができます。
冬と夏の温度差も小さく、
1年を通して快適に暮らすことができます。

	気温	日照時間
静岡市	最高：36.7℃ 最低：-2.6℃ ⇒気温差 39.3℃	2,239.7 時間
東京	最高：37.0℃ 最低：-3.5℃ ⇒気温差 40.5℃	2,028.9 時間

※2022（令和4）年の数値

車がなくても生活できる、コンパクトなまちが形成されています。

静岡市は周辺の地域も含めた中心的な都市であり、
さらに県庁所在地でもあるからこそ、
日常生活を送るために必要な施設が集まっています。
コンパクトなまちが形成されているため、
車を使わなくても快適な暮らしが送れます。



豊かな自然に囲まれ、緑を近くに感じながら暮らすことができます。

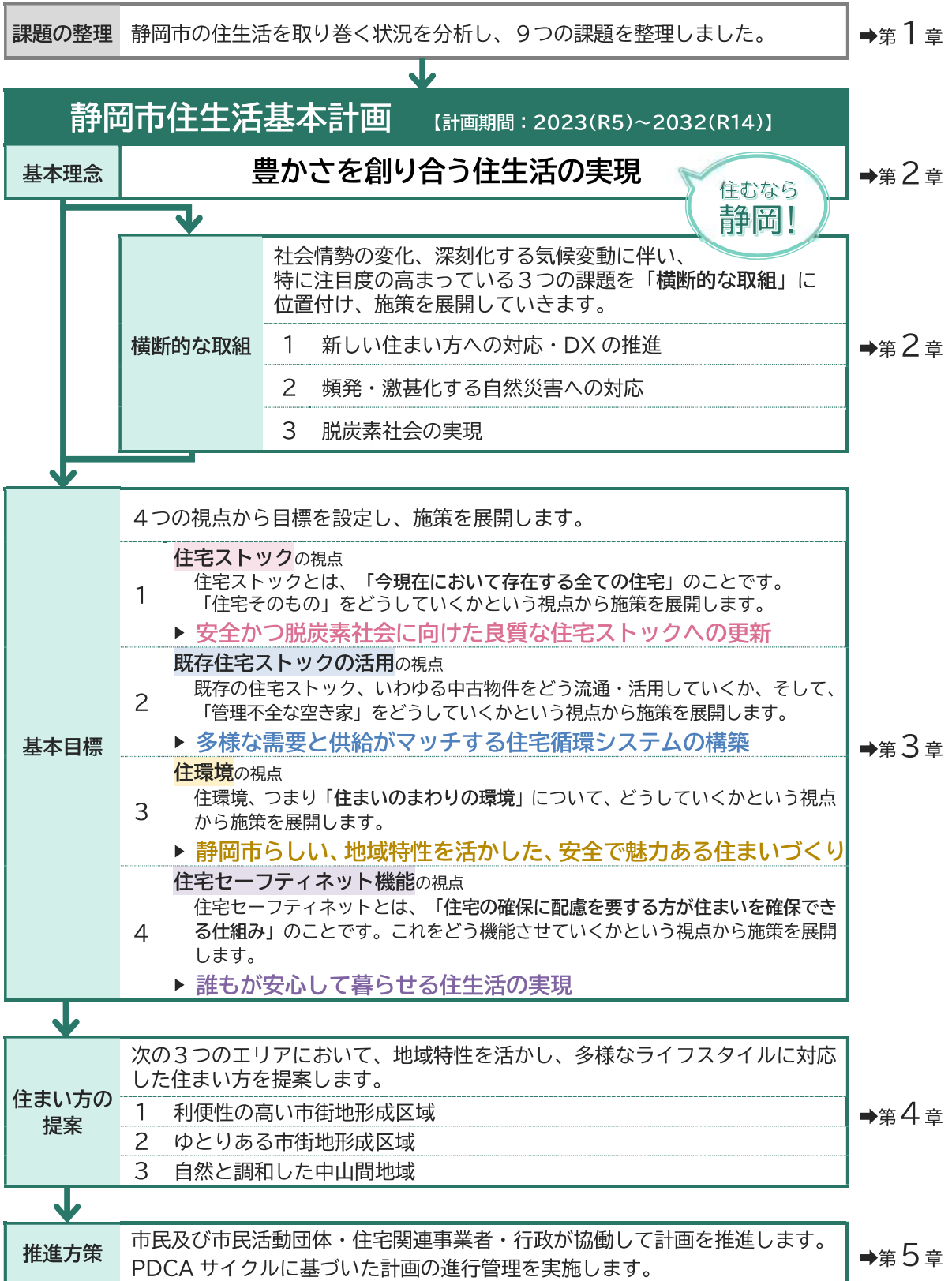
静岡市は北には 3,000m 級の山々が連なる南アルプス、
南には水深 2,500m の駿河湾があり、
豊かな自然環境に囲まれています。
市域の8割は豊かな自然が残る山間地域であり、
「オクシズ」の愛称で親しまれています。
中心市街地と中山間地域の生活スタイルは異なり、
ライフスタイルに合った暮らしが送れます。



近年、**住まいに対する価値観やニーズは多様化**しています。

コロナ禍を契機としたテレワークの普及等による住まい方・働き方の変化、
水害等の自然災害の頻発・激甚化による防災・減災意識の高まり、
世界的な課題である気候変動問題の解決に向けた環境に配慮した住まいへの転換等、
住まいに対する価値観やニーズが大きく変容しており、対応が必要になります。

静岡市の住生活を豊かにするために計画を策定します



SDGs との関係 「目標 11 住み続けられるまちづくりを」を筆頭に、8つの項目を推進していきます。



静岡市住生活基本計画 目次

序章 はじめに

『静岡市住生活基本計画』を改定した目的や計画期間について説明しています。

1 計画改定の背景と目的	2
2 計画の位置付け	3
3 計画期間	3

第1章 住生活を取り巻く現況の分析と課題

静岡市の住生活を取り巻く状況を分析し、どのような課題があるかを示しています。

1 現況の分析	6
I 人口・世帯の状況	6
II 住宅の状況	8
III 住宅セーフティネット機能	14
IV 市民の住環境に対する意識	18
V 地域の状況	19
2 住宅政策に関する国・県の動向	24
3 前計画の成果と継続課題	26
4 住宅分野における課題の整理	30

第2章 計画の理念と基本目標

『静岡市住生活基本計画』が目指す基本理念や基本目標を示しています。また、基本理念の実現に向けて、市民・市民活動団体、住宅関連事業者、静岡市の各主体に期待する役割をまとめています。

1 基本理念	34
2 各主体に期待する役割	35
3 基本目標と施策の方向	36
4 横断的な取組	37
5 世界共通目標を踏まえた対応（SDGs）	40

第3章 施策展開

具体的な取組について、4つの基本目標ごとに示しています。

基本目標1 安全かつ脱炭素社会に向けた良質な住宅ストックへの更新	44
基本目標2 多様な需要と供給がマッチする住宅循環システムの構築	48
基本目標3 静岡市らしい、地域特性を活かした、安全で魅力ある住まいづくり	52
基本目標4 誰もが安心して暮らせる住生活の実現	58

第4章 地域特性を活かした住まい方

静岡市が有する個性豊かな地域特性を活かし、多様なライフスタイルに対応した住まい方を提案します。

1 気候の特徴	66
2 関連計画におけるまちづくりの方針	66
3 住まい方の提案	68

第5章 計画の推進方策

基本理念の実現に向けて、計画をどのように進めていくかを示しています。

1 計画の推進方策	74
2 計画の見直し時期	74
3 2022（令和4）年度の計画改定の体制	75

参考資料 用語の説明

参考資料として、用語の説明を掲載しています。

用語の説明	80
-------------	----